



## 第20回常任理事会

**日時** 平成20年1月21日（月）18：57～20：32  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、三宅・宮本・畑各副会長、柳山・山本・北野・渡辺・三戸・小山・目黒・原田・藤井・藤原・深澤・直江・橋本各常任理事、高木・水元・中村各監事（事務局：島影事務局長ほか12名）

### 協議事項

**第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件**  
（深澤常任理事）

#### 〈決定〉

1月16日の審査委員会で指定「可」とされた新規1名、施設変更1件を委員会決定のとおり承認する。

**第2号 がんプロフェッショナル養成プラン評価委員会委員の推薦に関する件**（深澤常任理事）

#### 〈決定〉

畑副会長を推薦する。

**第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件**（渡辺常任理事）

#### 〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座65件、道医認定生涯教育講座57件、合計122件を承認する。

**第4号 その他**

(1) スポークスマンについて（長瀬会長）

#### 〈決定〉

情報広報部管掌副会長の畑副会長と同部長の藤原常任理事とする。

(2) 札幌医科大学学術振興会精算人の就任に関する件（深澤常任理事）

#### 〈決定〉

長瀬会長が就任する。

(3) 2月行事予定に関する件（事務局）

#### 〈決定〉

提案どおり承認決定。

### 報告事項

**1. 平成19年度産業保健研修会について**  
（小山常任理事）  
北海道医師会が主催の同研修会の受講者総数は約

900名。これから予定の産業保健特別研修会は来る3月22日（土）札幌グランドホテルにおいて開催、受講者は250名を予定している。

**2. 北海道糖尿病対策推進会議[平成19年12月27日（木）]について**（三戸常任理事）

本年度の推進会議の事業ならびに、参画団体が独自に開催した事業について報告の後、特定健康診査・特定保健指導に関する件を含めた20年度開催予定の事業について検討を行った。

**3. 第1回健康スポーツ医学推進委員会について**[1月10日（木）]について（畑副会長）

委員長に沼崎委員、副委員長に佐久間委員を選出した。健康スポーツ医再研修会を2月23日（土）午後3時よりホテルニューオータニ札幌で開催することとし、座長等について決定した。

**4. 日医生涯教育講座「第7回BLS・気道確保とAED」**[1月14日（月）]について（渡辺常任理事）

標記講座を当会館で開講し、受講者は22名であった。札幌大・浅井教授の挨拶、続いてBLSおよびAEDの概説の後、各講師の指導により、気道確保・挿管、モニター・除細動などの実習を行った。

**5. 在宅医療廃棄物の処理に関する打合せ**[1月16日（水）]について（三戸常任理事）

在宅医療廃棄物については、法的には市町村が処理をすることとなっているにも関わらず、その取扱いが大多数の市町村で捻じ曲げられている状況について、道の実施したアンケート調査に基づき報告を受け、市町村の代表者と道とで話し合いを行い、状況を改善するよう要望した。

**6. 産業保健活動推進委員会第3回小委員会**[1月16日（水）]について（小山常任理事）

うつ病等の患者に接する機会の多い一般医が専門医へ紹介する際の適切なガイドライン作成の検討、その執筆者を決定した。また、3月22日開催の産業保健特別研修会の講師を決定した。

**7. 第24回北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会**[1月18日（金）]について（原田常任理事）

「特定健診・保健指導」について三戸常任理事から話題提供し、本事業に関与する各団体からその取り組み等について発言いただき意見交換を行った。参加者は薬剤師会、看護協会等ほか21団体40名であった。

**8. 特定健康診査に関する医師国保組合との集合契約に関する打合せ**[1月21日（月）]について

（三戸常任理事）

昨年、医師国保組合より申し入れのあった、特定健康診査・特定保健指導に関する集合契約について、当会の方向性について回答をした。

**9. 日医各委員会報告**

(1) 男女共同参画委員会[1月9日（水）]について  
（藤井常任理事）

男女共同参画委員会報告書案がまとまった。

また、院内保育所・託児施設の現況等に関するアンケートについては、本年1月下旬に行うことになった。第4回男女共同参画フォーラムについては、本年7月19日（土）午後1時からホテル日航福岡で開催することとし、そのテーマとして「医療崩壊をくいとめるために 今何が出来るか 何をすべきか」に決定した。

(2) 公衆衛生委員会[1月9日（水）]について  
(山本常任理事)

会長諮問「健診・保健指導における医師会の役割」の答申案について検討を行った。

(3) 勤務医委員会[1月11日（金）]について  
(直江常任理事)

日医ニュース「勤務医のページ」のメイン記事のテーマについて検討を行った。また、答申案については、前回の議論を踏まえ、事前に各担当部分の答申原稿の見直しを行ったものが正案として提出され、それをもとに審議を行った。なお、答申の最終取りまとめに向け、2月15日（金）に委員会を開催することとなった。

(4) 医療関係者対策委員会[1月11日（金）]について  
(三宅副会長)

会長諮問「看護職員の不足・偏在とその対策について」に対する報告書ができ上がった。その内容は、第1章「准看護師・看護師の確保に向けて」と第2章「助産師の確保に向けて」の2部構成となっている。

(5) 広報委員会[1月17日（木）]について  
(長瀬会長)

答申書最終案について検討した。2月14日に再度協議し、成案とすることとなった。

## 10. 外部各委員会報告

(1) 道民の健康づくり推進委員会[平成19年12月26日（水）]について  
(藤井常任理事)

柳内副委員長の退任により、後任として小職が副委員長に就任した。その後「地域・職域連携推進専門部会」の状況について報告を受け、北海道健康増進計画「すこやか北海道21」の指標の追加等について協議し、文中の「高脂血症」を「脂質異常症」に改める等、表現を一部訂正することとした。

(2) ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会[1月9日（水）]について  
(目黒常任理事)

2006年度ドクターヘリ運航実績報告書の作成に向け、最終的な協議が行われた。本報告書ができ上がり次第、郡市医師会を含めた関係機関に配付される予定である。

(3) 学校保健審議会[1月18日（金）]について  
(長瀬会長)

昨年10月～11月にかけて、中学校・高等学校58校を対象に実施された「生徒の性に関するアンケート調査結果」について、調査結果の概要

説明と、今後の方向性について協議を行った。今後、この調査結果を学校関係者へ配布するなどし、研修会の資料として活用することが確認された。

## 11. 各部報告

(1) 地域保健部担当理事会[1月16日（水）]について  
(三戸常任理事)

特定健康診査・特定保健指導における、北海道医師国保組合との集合契約に関する打合せに向け、その内容について確認を行った。

(2) 医療保険部（診療報酬改定パブリックコメント）について  
(榊山常任理事)

1月18日に中医協において、厚生労働大臣から診療報酬改定について諮問があった。25日（金）を期限としてパブリックコメントを受け付けているので、是非とも提出していただきたい。このことについては、郡市医師会、全理事には連絡済である。

## 12. その他

(1) 会員数について  
(深澤常任理事)

平成19年12月31日現在の会員数は8,456名で、内訳はA会員2,623名、B1会員554名、B2会員4,468名、C1会員98名、C2会員185名、C3会員528名となっている。日医会員は、6,243名である。

(2) 平成19年度訪問看護実践発表会[1月19日（土）]について  
(畑副会長)

北海道看護協会主催の標記発表会が開催され、シンポジウム「在宅療養支援診療所と訪問看護の連携—期待される訪問看護のあり方と課題—」の中で「北海道における在宅医療の現状と課題」について医師会として発表してきた。

## 道総医協関連事項

1. 看護対策小委員会[1月17日（木）]について  
(北野常任理事)

助産師養成に係る実習施設の確保について現状報告があり、意見交換を行った。また、北海道医療計画に盛り込まれる看護職員の確保について協議した。